

金融経済環境

好調な世界経済も、米中の貿易摩擦などをきっかけに、景気減速への懸念や、世界的な株安の動きなどに波及しており、今後景気の押し下げリスクが、どれだけ顕在化してくるのか、その見極めは難しい状況です。国内景気は好調を維持しておりますが、今後の見通しについては、海外情勢にも注目する必要があります。また、2019年10月の消費税増税に向けて、政府も軽減税率を始めとする景気対策を強力に実施する予定です。景気後退とならないことを期待するとともに、

私どもとしては、地域金融機関としての役割・機能をしっかりと発揮して、県内の景気を支えてまいりたいと思っております。

愛媛県内においては、西日本豪雨災害による影響が、いまだ残っているものの、個人消費の持ち直しや、積極的な設備投資を背景に、総じて緩やかな回復が続いております。しかしながら、県内における「人手不足」は深刻化しており、今後は働き方改革の推進とあわせて対応が求められるものと思っております。

2018年度中間事業内容

ご承知のとおり、金融機関を取り巻く環境は刻一刻と目まぐるしく変化しております。

当行では、その変化にしっかりと対応するために第16次中期経営計画を2018年4月にスタートさせました。約8カ月が経ち、一定の成果と手応えを感じております。

今中期経営計画においては、「変革への挑戦～すべてはお客さまのために～」のテーマのもと、お客さまサービスの向上を目指し、着実に各施策を実現しております。

皆さまの生活に身近なスマートフォンを通じたサービスをご提供するために、ホームページの全面リニューアルを行い、新しく「愛媛銀行アプリ」「ひめぎんチャットボットサービス」といった新サービスの取扱いや愛媛銀行「LINE@」公式アカウントを利用した情報提供を開始しました。

2018年7月の西日本豪雨災害では、被災直後から、迅速に生活物資等の配布を行いました。その後、被災者に寄り添い、お一人お一人のお困りごとに対して、丁寧な対応に努めております。当行としましても、復

興支援を最重要課題のひとつに位置付けております。

続いて、中小企業向けの取り組みに関しては、事業性評価を通じ、企業の実態把握に努め、各企業別に適したソリューション提案や具体的な経営改善に取り組んでおります。中小企業向け貸出についても積極的に取り組み、着実に増加を続けております。

なお、サイバー攻撃やAML/CFT対応などの年々高度化・複雑化しているリスク対策については、リスク特性を把握し、それに応じた業務適正化の確保に努めております。引き続き、リスク管理・ガバナンスの充実と強化には盤石の態勢で臨み、その具体的な取り組み状況については、コーポレートガバナンス報告書により開示してまいります。

当行はこれからも、堅実経営を行いながら、地域経済を牽引する「ふるさと銀行」としての使命を誠心誠意果たしてまいります。そして、第16次中期経営計画に基づき、「地域・お客さま・株主の皆さま方にとってかけがえのない銀行」を目指してまいります。引き続きご支援・ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

誠心誠意

日々の暮らしは
打ち寄せる波のよう
穏やかな日もあれば
大きく揺れ動く日も
あることでしょう。

私たちは
どんな波の日にも
愛媛のみなさまに
寄り添い、共に歩み
みなさまが望む
未来へ進むことが
できますよう
誠心誠意
尽くして参ります。
愛媛のみなさまと
これからも、ずっと。